

ヨンミン・パク、指揮者



指揮者パク・ヨンミンは 2015 年より ブチ
ヨン・フィルの音楽監督・指揮者に任命さ
れました。

パク氏は 国立ソウル大学、大学院を卒
業後、オーストリアの モーツァルト国立
音大で世界的指揮者ミヒャエル・ギーエ
ンの指導を受け、国際モーツァルト財団
で高評価され、パウムガルトナ
ー賞 (Paumgartner Medal) を受賞しました。
また、イタリアの キージアナ・アカデ

ミーで世界的指揮者チョン・ミョンフンの指導を受けて高い成果も出しました。

その後、パク・ヨンミンは 32 歳の時に韓国のチュギー芸術大学指揮科で教授
を勤め、ワンジュ・フィル (2011-2014) とソウルクラシック プレイヤー
(2001-2010) で音楽監督・指揮者を務めました。

2009 年、パク・ヨンミンは、ブタペスト交響楽団との共演により、ウィーン
楽友協会でのヨーロッパ・デビューを果たし、大変な成功を収めました。彼は
また様々なヨーロッパのオーケストラやオペラプロダクションで客員指揮者を
務めました。次のリストはその当時のオーケストラの例です。

ブルノ国立フィルハーモニー管弦楽団 (チェコ)、ブレマーハーフェン市立オー
ケストラ及びニュルンベルグ交響楽団、(ドイツ)、アルメニア管弦楽団、リ
トアニア国立交響楽団、オポレ・フィルハーモニー室内管弦楽団及びジェシュ
フ管弦楽団 (ポーランド)、北チェコ管弦楽団、オルケストラ・ド・ノルテ (ポ
ルトガル)、バルセロナ市立楽団及びマヨルカ交響楽団 (スペイン)。

さらに、彼はアジア地域でもソウル・フィル、KBS 交響楽団との公演や、オー
ケストラ・アンサンブル金沢と日本ツアーを行うなど、様々な演奏活動を行っ
ています。特に、日本での「狂日の日 (La folle journée)」フェスティバルでのマ
ーラー交響曲の演奏は大きな成功を収めました。

パク氏のレパートリーは、マーラーやリヒャルト・シュトラウスの全交響曲を含んだ幅広いもので、最近ではワーグナーのオペラ作品を含む様々なジャンルへも取り組んでいます。

特に、オペラ、タンホイザーは「成功した冒険」と高く評価され、来シーズンで公演予定のワーグナーのオペラ「ラインの黄金」への聴衆の期待は高まっています。

パク・ヨンミンの主なレコーディングはソニークラシカルから発売されたマーラーの交響曲第6番及び第1番で、いずれも高い評価を受けています。

2017年-2018年シーズンでは、特にリヒャルト・シュトラウスとマーラーを中心とした公演が予定されており、ベルリン・フィルハーモニーでの演奏含むヨーロッパ・ツアーが計画されています。

Artist of ASPEN Japan